

恒常所得 Y_t^P は3期間の所得 Y_t 、 Y_{t-1} 、 Y_{t-2} をもとに、次のように決まるものとします。

$$Y_t^P = 0.5Y_t + 0.3Y_{t-1} + 0.2Y_{t-2}$$

また消費は

$$C_t = 0.9 Y_t^P$$

によって決まるものとし、この個人は、各期においてその期の所得から消費を差し引いた残りをその期の貯蓄に充てます。ここで、 Y_t は t 期の所得を表し、 C_t は t 期の消費を表します。

この個人は、 t 期までは每期 300 万円の所得を得てきたが、 $t + 1$ 期は所得が 400 万円に上昇しました。このとき、 $t + 1$ 期の貯蓄額は t 期と比べてどう変化しますか。

- 1 . 5万円増加 2 . 10万円増加 3 . 55万円増加 4 . 5万円減少 5 . 45万円減少
(国税専門官 改題)